

# 地震に備えて

## これから建てる人へ

### 木造住宅は耐震的なものに

これから家を建てようとする方は木造住宅を対震的なものにするため次のことを守ってください。

#### ▶敷地の選定

地盤…良い地盤をえらぶことが大切です。

- ①良い地盤…岩盤、硬い砂礫層、砂利混りの層で硬くしまったところ
- ②悪い地盤…田、沼地等を埋めたところ、腐食土、泥土、造成地等で盛土したところ、大雨のとき出水するところ。

なるべく高くしてください。悪い地盤のところでは、必ず鉄筋を入れてください。

#### ▶腐蝕防止

床下の通気をよくするため、布基礎には換気孔をなるべく多く設けてください。特に玄関、台所、風呂場等の周りは通気をよくすることが大切です。また土台、柱の根元床組には防腐と白アリの害を防ぐための薬剤を塗布してください。

#### ▶家の形

地震の力が建物全体を平均に伝わるような単純な形が最もよくデコボコの多い建物又は大きな部屋(24畳程

度)のある建物は地震に対して弱くなるのでさけるようにしてください。

#### ▶壁の量

カベは多ければ多いほど、建物全体のつり合いがよく、4隅に設けることが大切です。カベのついてない独立した柱を設けることは極力さけてください。

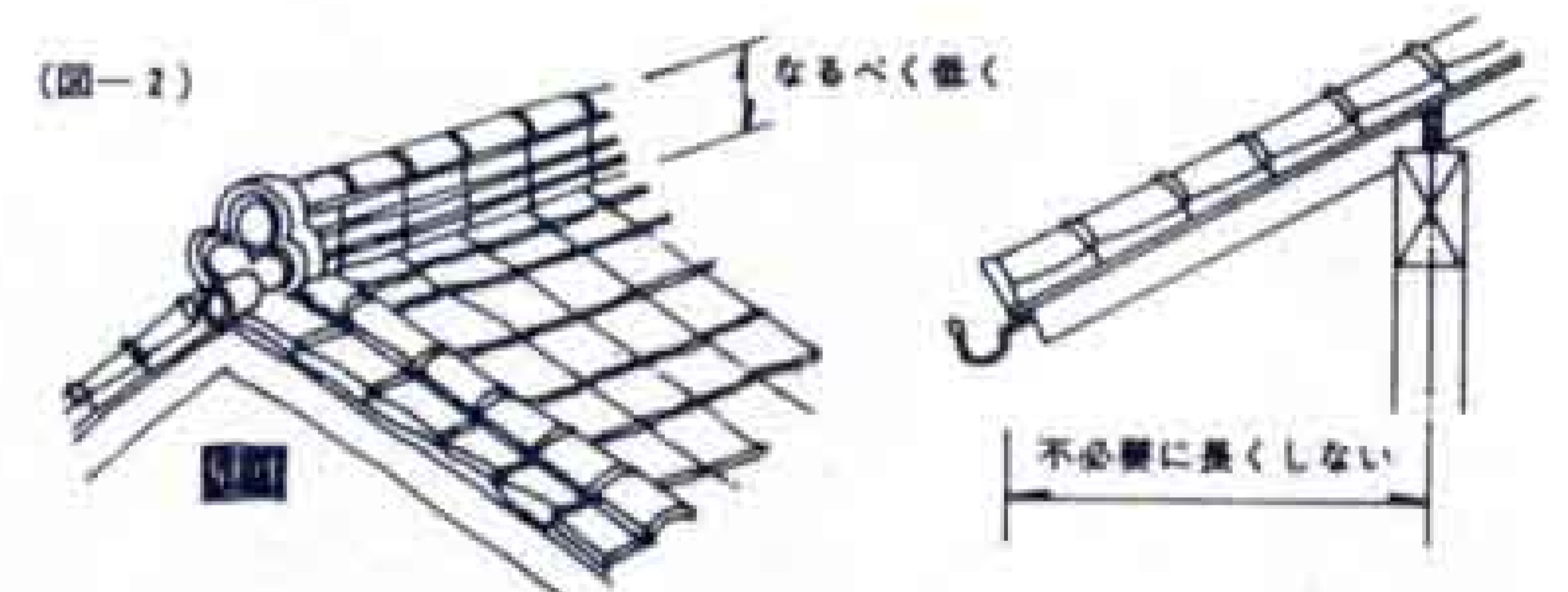
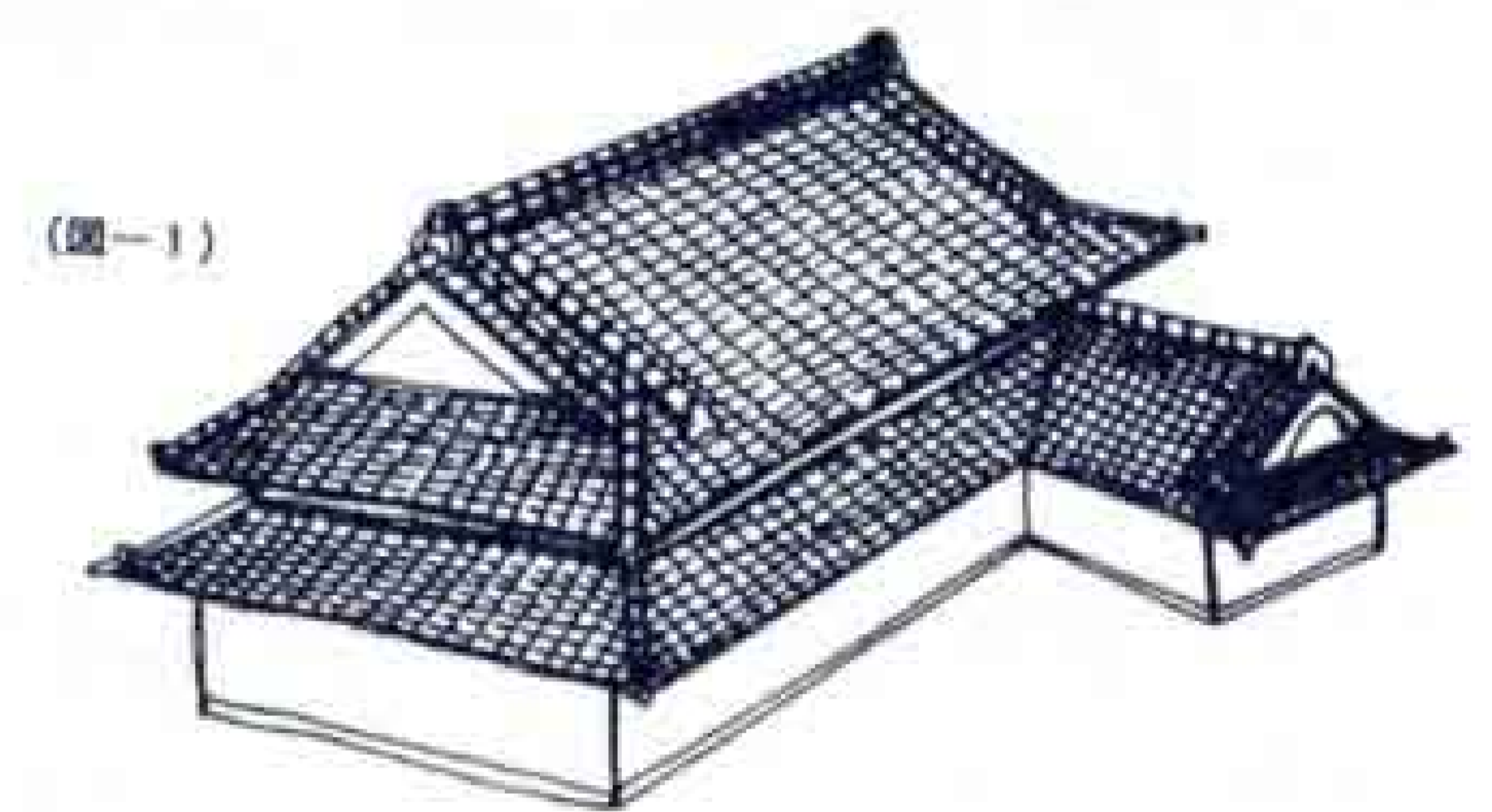
#### ▶屋根

①屋根は、軽いフキ材の方が地震には有利です。

②瓦フキには他のフキ材にない良いところがあります。従って瓦屋根をえらぶ場合が多いのですが、瓦の重量は建物の重量の大半を占めるので、できるだけ軽くするように工夫することが大切です。

(イ)屋根全体の形を切妻等の単純なものにして、二重、三重造りの屋根はさける。

(ロ)入母屋造、寄せ棟造等の複雑なものはなるべくさける(図-1)

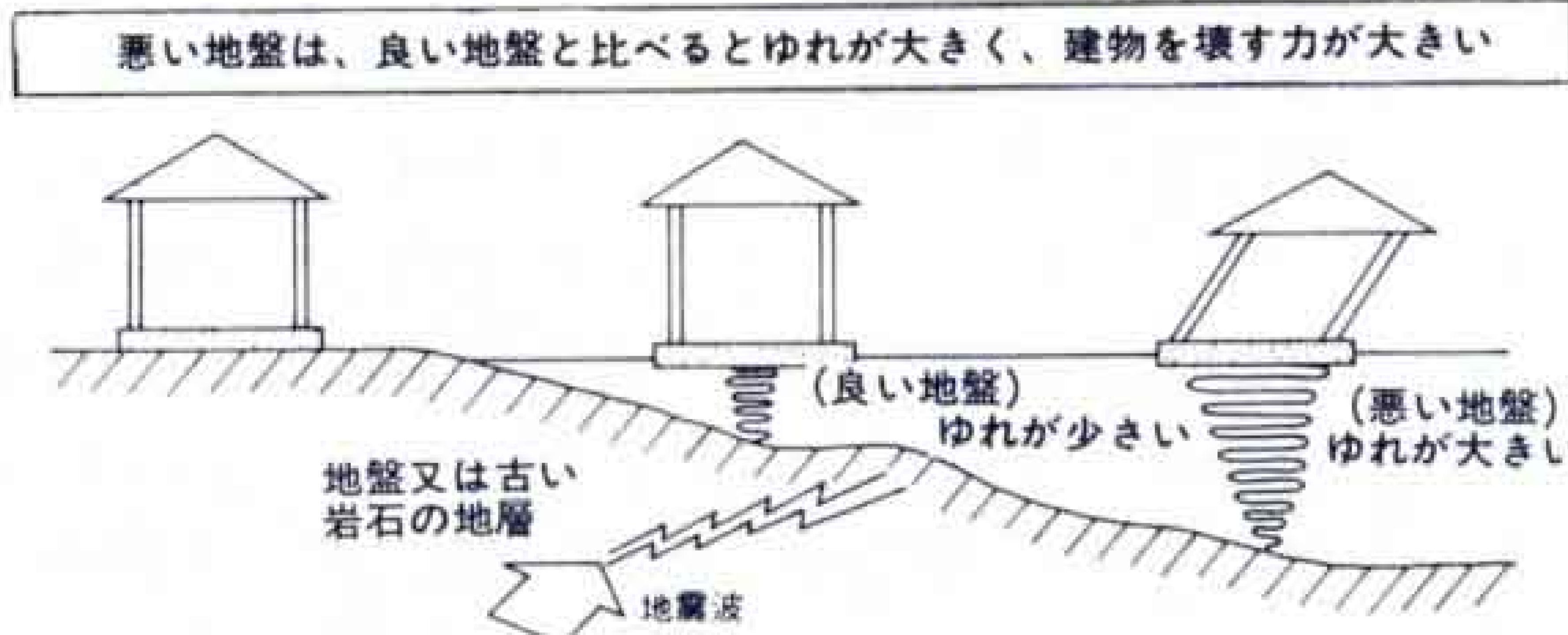


(ハ)棟瓦の高さはなるべく低くして軒の出等も不必要に長くしない(図-2)

#### ▶2階建ての場合

2階建ての場合は、間取りを考える時に、2階の柱が1階の柱の上にくるよう配置するとともに、建物の隅柱は、通し柱を設けるようにしてください。

くわしいことについては、直接市建設部管理課(電話51-0123 内線344)の建築相談窓口でご相談ください。



#### 周囲の状況

がけ崩れ、土石流、津波、洪水等の恐れのある敷地はさけることが大切ですが、やむを得ない場合は建物を鉄筋コンクリート造にするか又は鉄筋コンクリート造の床の高いピロティー等で造るようにしてください。

#### ▶基礎

基礎はコンクリートの布基礎とし



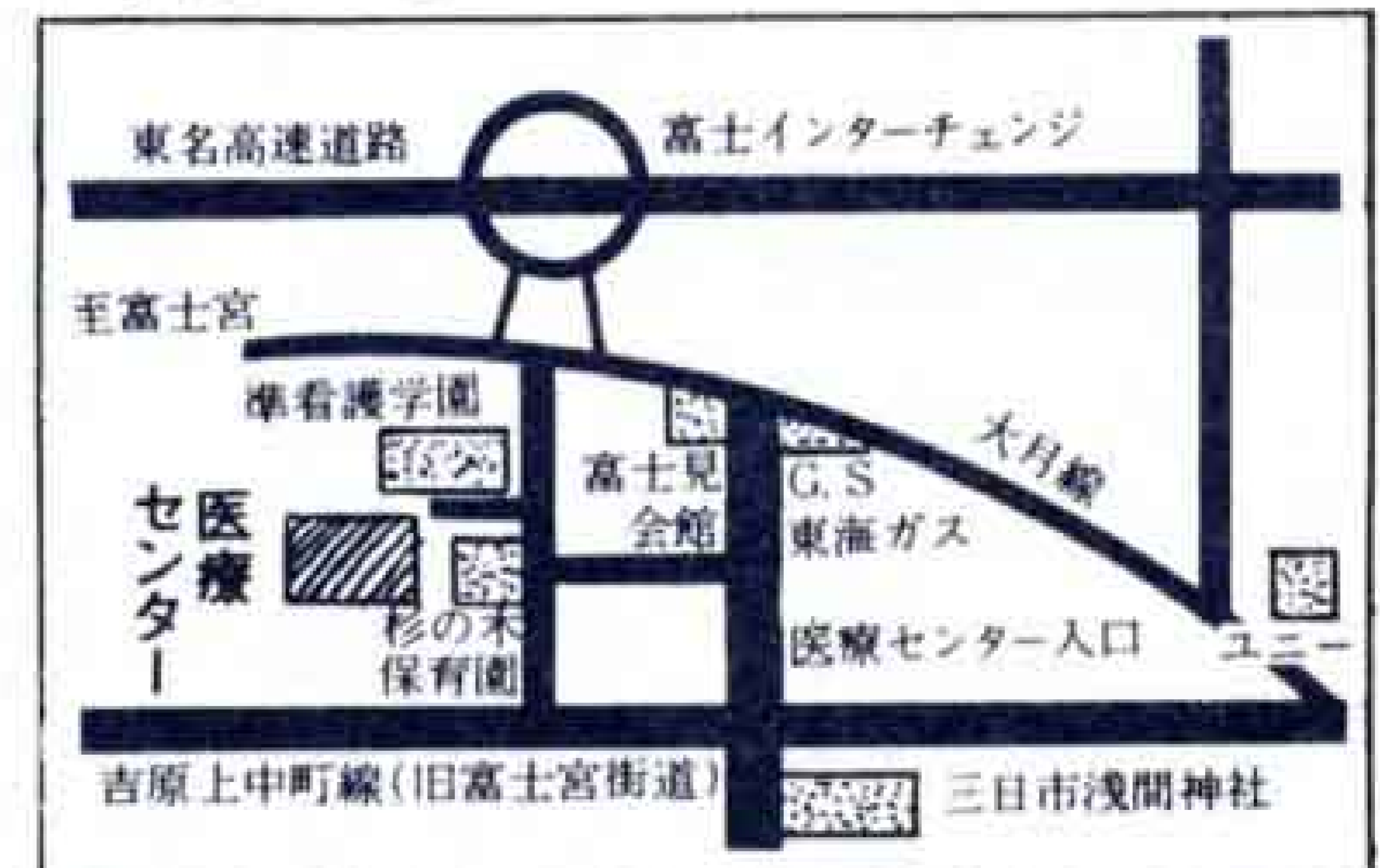
#### 3月の当直医

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。当直医院は急病のときだけご利用ください。

- 3月12日
  - 外科 神谷医院(川成島 61-5900)
  - 米山医院(今泉1 52-0275)
  - 産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)
- 3月19日
  - 外科 中央病院(本市場 61-8800)

- 米山病院(吉原4 52-3060)
- 産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)
- 3月21日
  - 外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
  - 快明堂医院(中央町1 51-0301)
  - 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)
- 3月26日
  - 外科 樫村医院(柚木 63-8881)
  - 渡辺病院(錦町1 51-3751)
  - 産婦人科 長野医院(柚木 61-1907)
- ※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただ

し受付時間は 4時30分までです。医療センターでは、日曜祭日以外は行ってありません。



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。